

## 寄附金募集事例紹介

### 小出郷消防本部

小出郷消防本部は、全国屈指の米どころとして知られている新潟県北魚沼郡にあります。消防本部の周りは辺り一面田園風景が広がり、900km<sup>2</sup>余の広大な管内からは、有名な越後三山が望める風光明媚なところです。

救急搬送として多いのは、山での遭難やスキー場での事故者、また最近では、進む高齢化によって搬送全体の実に49%を65歳以上の高齢者が占め、このような山間の現場への救急車の所要時間の長さも深刻な問題となっています。

このような環境から、応急手当に関して消防はもちろんのこと、住民の方々の意識も非常に高く、例えば、消防本部のある小出町には「小出中央地区コミュニティ協議会」という地域の防災や美化、ボランティアなど多岐にわたる活動をしている団体があり、その中の「温ったか地域ライフラインの会」という会が「家庭救命士」なるものを発案しました。これは、普通救命講習を家庭の留守を預かる主婦やお年寄りが中心となって受講し、自分の家や地域全体を守ってほしいというものです。

現在受講者は131名で「受講者100名常時確保」を目標に、家庭救命士マップを作成するなど積極的に活動しています。他にも小中学校をはじめとして、講習会の依頼が常にあり、訓練用の人形は慢性



的に不足、加えて老朽化による故障が増えてきているため、この度、少しでも役立てていただこうと訓練用の人形、応急手当のテキストと絆創膏の3点を寄贈させていただきました。新しい人形は吹き込み量や心臓マッサージの強さが目で確認できるスキルメーター付で住民の方々にも好評のようです。絆創膏は管内の小中学生に配りましたが、その際に絆創膏と赤白2枚の紙でカードを作ってもらい、そのカードを使ってYES/NO式の救急に関するクイズ大会をやり、子供達も大変喜んでいました。

今後も、資機材を大いに活用し、住民の方々と相互に協力しながら、応急手当のより一層の普及を推進してほしいと思います。

### 皆様の寄附で購入しているもの



平成10年度より、皆様から寄せられた救急基金の運用益にて、

- ① 心肺蘇生訓練用シミュレーター
- ② 応急手当講習テキスト
- ③ 住民配布用の救急絆創膏

の3点を寄贈させていただいております。

これらは、各消防本部に寄贈され、一般住民向けの救急救命の講習会や指導資料として活用されています。

